

次世代AIエージェント 比較分析



Gensparkスーパーエージェント
OpenAI Deep Research
Manus



3つのAIエージェントの概要

Gensparkスーパーエージェント

9つのLLMモデルを組み合わせた多機能統合型AIエージェント。80種類以上のツールと連携した自律型AIシステム。

主な特徴

- マルチモーダル対応（テキスト、画像、音声、動画）
- AI電話代行機能搭載
- GAIAベンチマークで最高スコア
- コンテンツ生成能力が高い
- 無料版あり（200クレジット/日）

OpenAI Deep Research

多段階のウェブリサーチとレポート作成に特化したAIエージェント。数百のオンラインソースから情報を収集・分析する。

主な特徴

- 自律的な情報収集と深い分析
- リサーチの深さと正確性に優れる
- 多段階の調査プロセスを自動化
- GPT-4o3ベースの高度な理解力
- 情報の信頼性検証機能

Manus

タスクの計画から実行までを自動で行う汎用AIエージェント。外部ツール操作と自律実行の面で高い能力を持つ。

主な特徴

- プランナー・実行・検証の3層エージェント構造
- 29種類の外部ツールと連携可能
- ブラウザやExcel等の自動操作が可能
- PCの電源が切れても処理継続
- Claude 3.7 Sonnet、Qwenなど複数モデル活用

基本機能比較表

機能カテゴリ	Gensparkスーパーエージェント	OpenAI Deep Research	Manus
基本概念	多機能統合型AIエージェント。9つのLLMモデルを組み合わせた自律型エージェント	多段階のウェブリサーチとレポート作成に特化したAIエージェント	汎用AIエージェント。タスクの計画から実行までを自動で行う
主要な用途	リサーチ、画像生成、動画生成、音声生成、コーディング、資料作成など	複雑なリサーチ、情報収集、データ分析、レポート作成	情報収集、データ分析、ツール操作、レポート作成、スケジュール管理
対応データ形式	テキスト、画像、音声、動画、コード	主にテキスト、ウェブコンテンツ	テキスト、画像、コード、表計算データ
ツール統合	80以上のツールと連携可能	限定的なウェブ検索ツール	29種類の外部ツールと連携可能
AI電話代行	あり（米国、カナダ、日本のみ対応）	なし	なし
実行環境	クラウド上で動作	クラウド上で動作	クラウド上の仮想環境で動作

Gensparkスーパーエージェントは最も幅広いツール統合と多様なデータ形式に対応しており、特にAI電話代行機能は他の2つのエージェントにはない独自の特徴です。

性能比較

GAIAベンチマーク: AIエージェントの自律的な問題解決能力を測定する標準指標。 **Gensparkスーパーエージェントが最高スコアを獲得**

性能要素	Gensparkスーパーエージェント	OpenAI Deep Research	Manus
自律性レベル	★★★★★ 高い - タスク分割、実行、改善を自動で行う	★★★★☆ 中程度 - リサーチに特化した自律性	★★★★★ 高い - 計画立案から実行まで自動化
マルチモーダル能力	★★★★★ 非常に高い - 画像、動画、音声、テキストを統合処理	★★★☆☆ 限定的 - 主にテキストベース	★★★★☆ 高い - テキスト、画像、コードを処理可能
外部ツール操作	★★★★★ 広範囲 - 検索、クローリング、コード実行など	★★★☆☆ 限定的 - ウェブ検索のみ	★★★★★ 広範囲 - ブラウザ、Excel、コードエディタなど
処理速度	★★★★☆ 速い - 複数のエージェントを並列実行	★★★★☆ やや遅い - 深いリサーチには時間がかかる	★★★★☆ 速い - 複数のエージェントを並列実行
非同期実行	★★★★★ 対応 - ユーザーがオフラインでも実行継続	★★★☆☆ 限定的 - チャット内での実行	★★★★★ 対応 - ユーザーがPCを閉じても実行継続
コンテンツ生成	★★★★★ 高品質 - スライド、HTML、画像、動画など多彩	★★★★★ 高品質 - レポート特化	★★★★☆ 中程度 - Excel、レポート、グラフなど
エラー耐性	★★★★☆ 高い - 自己修正能力あり	★★★★☆ 中程度	★★★★☆ 高い - 検証エージェントによるチェック機能あり

使用事例と適した業務

各AIエージェントの実用性と適したタスク・業務分野を比較します。

使用事例/業務	Gensparkスーパーエージェント	OpenAI Deep Research	Manus
 リサーチ業務	✔ 広範なリサーチと分析、視覚資料作成	✔ 詳細なオンラインリサーチ、レポート作成	✔ ウェブスクレイピングとデータ収集
 マルチメディア制作	✔ 画像、動画、音声の生成と編集	✖ 対応していない	✖ 限定的な対応
 データ分析	✔ データの収集、分析、可視化	✔ オンラインデータの分析と統合	✔ Excelでのデータ処理、グラフ作成
 コーディング	✔ 複雑なコードの生成と実行	⚠ 限定的な対応	✔ Pythonスクリプトの生成・実行
 外部連絡対応	✔ AI電話代行機能あり	✖ 対応していない	✖ 対応していない
 財務・経理業務	✔ データ収集、分析、レポート作成	⚠ マーケット分析のみ	✔ Excel操作、データ処理、レポート作成
 教育・教材作成	✔ スライド、動画、音声教材の作成	✔ 情報収集と教材コンテンツ作成	✔ 練習問題、資料作成

総合評価: Gensparkスーパーエージェントは最も多様な業務に対応しています。OpenAI Deep Researchはリサーチに特化し、Manusはデータ処理や外部ツール操作に強みがあります。用途により最適なツールを選択することが重要です。

技術的特徴と制限事項

技術要素	Gensparkスーパーエージェント	OpenAI Deep Research	Manus
🔧 使用モデル	9つのLLMを組み合わせたオーケストレーション	GPT-4o3ベース	Claude 3.7 Sonnet、Qwenなど複数モデル
➡️ アクセス方法	オープンアクセス 無料版あり	ChatGPT Plus/Team/Enterprise 有料サブスクリプション必須	ウェイトリスト 招待制
🎁 無料枠	200クレジット/日（無料版）	なし（ChatGPT Plusサブスクリプション必要）	限定テスト
👤 プライバシー	データ保持ポリシーの透明性低い	OpenAIのプライバシーポリシーに準拠	詳細不明（中国発のため懸念あり）
🗣️ 対応言語	多言語対応	多言語対応	多言語対応（中国語に強み）
🔌 APIアクセス	提供あり 開発者対応	なし 直接アクセスのみ	不明
⚠️ 主な課題	高度な機能は有料、精度に依存	深いリサーチに時間がかかる、誤情報リスク	誤情報リスク、セキュリティ・プライバシー懸念

技術比較のポイント

- **Genspark:** 最もオープンでアクセスしやすく、無料枠と開発者向けAPIも提供しています
- **OpenAI:** 安定した基盤モデルを使用し、プライバシーポリシーの透明性が高いものの、コスト面で敷居が高めです
- **Manus:** 技術的には高度ですが、閉鎖的なアクセスモデルとプライバシー面での不透明性が課題です

総合評価



評価総括

Gensparkスーパーエージェントは多機能性と自律性で最高評価を獲得し、総合的なバランスに優れています。OpenAI Deep Researchはユーザビリティと情報の正確性で高評価を得ていますが、機能の幅と処理速度で劣ります。Manusは自律性と処理速度で高いパフォーマンスを示していますが、アクセスの難しさがユーザビリティを下げています。

各AIツールの差別化ポイント

Gensparkスーパーエージェント

★ 強み

最も広範なマルチモーダル能力と外部ツール連携を持ち、**GAIAベンチマークで最高スコア**を記録

マルチモーダル 80+ツール連携 高性能

💡 ユニーク機能

AI電話代行機能、複数LLMの組み合わせによる高度なオーケストレーション

AI電話代行 9つのLLM統合 動画生成

👥 アクセシビリティ

無料版あり、登録後すぐに利用可能で初心者でも始めやすい

無料版あり 即時アクセス API対応

OpenAI Deep Research

★ 強み

リサーチの深さと正確性に優れ、**数百のオンラインソース**からの情報収集と統合が可能

深いリサーチ 高い正確性 信頼性

💡 ユニーク機能

複数ステップの自律的リサーチ、高度な情報の統合と整理、信頼性検証

多段階リサーチ 情報統合 情報検証

👥 アクセシビリティ

ChatGPT Plus以上のサブスクリプションが必要だが、OpenAIの既存ユーザーには導入障壁が低い

有料サブスク必須 既存ユーザー向け

高いUI品質

Manus

★ 強み

外部ツール操作の自動化に優れ、**完全自律型の動作**で複雑なタスクを完遂

自律動作 ツール操作 自動化

💡 ユニーク機能

プランナー・実行・検証の3層エージェント構造、PCの電源が切れても処理継続

3層エージェント 処理継続 検証機能

👥 アクセシビリティ

招待制のクローズドベータ段階で、一般アクセスが限られているが今後拡大予定

招待制 限定アクセス 将来拡大予定

差別化のポイント： 各AIエージェントは異なる強みを持ち、Gensparkは機能の幅広さとアクセスのしやすさ、OpenAIはリサーチの深さと精度、Manusはツール操作と自律性で差別化されています。用途や重視する機能に応じて最適なツールを選択することが重要です。

まとめと推奨活用法

業務別・最適ツール

業務タイプ	最適なツール	選定理由
 深いリサーチ・調査	OpenAI Deep Research	情報の正確性と多段階リサーチに優れ、数百のオンラインソースを横断的に分析して客観的な結論を導き出します
 マルチメディア制作	Gensparkスーパーエージェント	画像、動画、音声生成を統合的に処理できる唯一のエージェントで、プレゼンテーションやコンテンツ制作に最適です
 複雑な自動化	Manus Genspark	Manusは外部ツール操作に優れ、検証機能を備えた3層エージェント構造で複雑なタスクを自律的に完遂します
 電話対応自動化	Gensparkスーパーエージェント	唯一AI電話代行機能を備えており、予約や問い合わせなどの電話業務を自動化できます
 開発・プログラミング	Gensparkスーパーエージェント Manus	コード生成から実行、デバッグまでをサポートし、開発者体験を向上させます

複合的な活用戦略

適材適所の使い分け

リサーチにはOpenAI Deep Research、コンテンツ制作にはGenspark、複雑な自動化にはManusと、タスクに応じて使い分けることで最大の効果を得られます。

ワークフロー連携

OpenAIでリサーチした結果をGensparkに渡してプレゼン資料を作成するなど、ツール間の連携でプロセス全体を効率化できます。

今後の展望

AIEージェントの進化

今後、各ツールはより高度な自律性と専門性を獲得し、セキュリティやプライバシー対策も強化されると予想されます。

導入のポイント

小規模なパイロット導入から始め、効果検証を行いながら徐々に拡大することで、組織に適した形でAIEエージェントを活用できます。

結論

3つのAIEージェントはそれぞれ異なる強みを持ち、補完し合う関係にあります。現時点では**Gensparkスーパーエージェント**が最も汎用性が高く、多くの業務に対応できますが、特定分野では他のツールの方が適している場合もあります。AIEージェントは今後も急速に進化を続けるため、各ツールの特性を理解し、業務ニーズに合わせて柔軟に選択・活用することが成功の鍵となります。

-  目的に応じた選択
-  補完的な活用
-  リスク管理
-  継続的な評価